



本邦初の本格的註解書！

本註解は国内外の同書簡の研究，註解書を踏まえつつ，ギリシア語原文から綿密に釈義。テキストの影響史＝解釈史までも射程を広げて考究している。本書によって初期キリスト教の成立背景，その諸問題を新たな角度から考察できる――。

キリスト教はいつキリスト教になったのか。初代教会はイエスやパウロの伝承から何を受け継ぎ、何を棄てたのか。Iペトロ書は最初期のキリスト教を知る上できわめて重要な文書である。Iペトロ書に目を向けることによって、キリスト教の始原の輪郭がより明確になる。

巻末に「ペトロの手紙一」（私訳）を全文掲載。

〈著者紹介〉

吉田新（YOSHIDA Shin）

1978年、静岡県生まれ。2005年立教大学大学院博士前期課程修了。2010年ハイデルベルク大学にて神学博士号（Dr. theol.）取得。現在、東北学院大学文学部総合人文学科教授。

著書

『バプテスマのヨハネ』（教文館、2012年）。

Trauerarbeit im Urchristentum. Auferstehungsglaube, Heils- und Abendmahlslehre im Kontext urchristlicher Verarbeitung von Schuld und Trauer, Göttingen 2013.

一光堂出版の新刊

◎ 12月3日発売

『聖書註解

ペトロの手紙一』

定価 8580円（本体7800円＋消費税）

A5判・410頁

吉田新

ISBN978-4-86325-160-1 C3316